

教科ごとの分析及び改善の方向性

(○＝指導効果が認められる ▲＝今後の課題)

- 【国語】** ○授業のマナーを守って取り組んでいる姿勢が多く見られる。
○積極的に授業に取り組もうとする生徒が多い。
▲授業の振り返りが不足している生徒が多い。授業内での理解で満足している様子があるため、積極的な振り返りの指示を行う。
▲教材や課題を工夫し、授業のバリエーションを増やすことで科目そのものに対する生徒のモチベーションを上げる工夫をする。
- 【地歴公民】** ○多くの生徒が授業マナーを守り、意欲的に取り組んでいる。
○授業が取り組みやすいとの評価が多い。
▲生徒の理解が定着するよう、家庭学習での必要性を生徒に説くとともに、授業内容や課題などの精選を図る。
▲資料をもとに、自ら考え積極的に発言できるよう、教材や授業展開を工夫する。
▲選挙法改正につき、福祉や環境のことを考えて投票できるような授業展開を工夫する。
- 【数学】** ○ほとんどの生徒が授業に対して、マナーを守るなど前向きに取り組んでいる。また意欲的に取り組んでいる。
○意欲的に学習活動に取り組んでおり、問題集に取り組む姿勢も見受けられる。
▲授業の進度が早いと感じる生徒も少なくないため、クラスの力の差を見極め、照準のあわせ方を工夫する。
▲予習・復習の定着を目指し、家庭で自学自習できるような宿題等を与える。
- 【理科】** ○生徒は、授業中はマナーを守ってまじめに取り組んでいる。
○実験を積極的に行いたい、良い成績を取りたいという意欲のある生徒が多くみられる。
▲授業中の実験、問題演習の時間や意見交換できる時間を増やし、生徒の向上意欲を満たしていけるような工夫を続ける。
▲図や写真、その他視聴覚教材を用いたアピールや、生徒の身近な現象と結びつけて、知識の定着をはかる。
- 【保健体育】** ○マナーを守り意欲的に授業に取り組んでいると、自己評価をしている。
○授業中のマナーについては、本校の教育目標の「キャリア教育」が授業の中にも浸透しつつあると考えられる。
▲復習プリントを作成や、授業の中で振り返りをおこなう等の工夫をして、生徒同士で話し合う機会を多くし、生徒が主体的に取り組む授業展開を行う
▲授業で行っている「振り返り」そのものが生徒自身の復習として行っているものという意識を持って活動できるよう指導する。

- 【芸 術】○マナーを守り意欲的に授業に取り組んでいる生徒が多い。
○資料などを用意し、主体的に、一生懸命取り組む生徒が多い。
▲技術指導を通して「やればできる」という成功体験を増やし、より意欲を引き出せるようにする。
▲机間指導を丁寧に行い、生徒一人一人にあったきめ細かい指導を心掛ける。
▲自分の作品だけではなく、友人の作品も大切にできる気持ちを持てるような指導を心がける。
- 【外 国 語】○時間やマナーをきちんと守っているという自己評価をしている生徒が多い。
▲授業によって満足度に大きな差が出ているため、教科内でお互いの授業の取り組みについて話し合い、授業改善に取り組む。
▲授業中の生徒の聞く態度について細かく声かけをしていく。
▲毎回の授業の到達目標を明確にし、生徒の理解度を確認しながら授業を進める。
- 【家 庭】○ほとんどの生徒が授業マナーを守り、意欲を持って取り組んでいる。
○個に応じた取り組みやすい授業であるとの回答が多い。
▲生徒がより興味関心を持って取り組むことができるように、教材や教具を工夫し、家庭生活において実践できるよう、支援していく。
▲プリントに振り返り欄やアンケート欄を設け、授業で何を学んだのか再確認させ、内容の定着をはかる。
- 【情 報】○多くの生徒が、たいへん熱心に授業に取り組んでいる。
▲プレゼンテーション作成用ソフトウェアの技術指導時間を増やし、操作技術の体得と定着をはかる。
▲情報の科学では、将来情報に関わる進路を選択する生徒も多いため、プログラミング等卒業後での利用も考えた授業展開を行う。

■全体総括

前回同様に、授業に対してマナーを守り、意欲・関心が高く、積極的に取り組んでいる評価の生徒は多かった。しかし、減少傾向が見られる科目もある。また、授業後の振り返りができていない生徒が多数である。教科によっては、授業によって満足度に差が出ている科目も多く、我々教員側がお互いに授業改善のための話し合いの機会を設けるなど工夫をする必要がある。

また、家庭学習の習慣化のために、普段の授業の中で家庭学習の取り組み方そのものを指導したり、振り返りの課題を、生徒が「復習をした」と実感がもてるように工夫して作成する必要があると考える。